

「2024年問題」対策推進

課題解決へ積極的に新規事業

東京都トラック協会は11月8日、東...



6年度事業の方向性(案)審議

5年度 交付金事業実施計画案検討委員会

冒頭、水野委員長が「源を有効に活用...



最優秀賞は市川葵衣さん(尾久小学校)

東京都トラック協会(浅井隆会長)は11月8日、令和5年度児童絵画作品コンテスト選考...

5年度 東ト協 児童絵画作品コンテスト

令和5年 秋の叙勲

東ト協 水野氏に旭日小綬章



令和5年秋の叙勲で、東ト協副会長の水野功氏

千代田運輸代表取締役・多摩支部)が旭日小綬章を受章した。...

安定的な輸送力確保へ 運賃改善に理解求める

東ト協は、時間外労働の上限規制適用に伴い輸送能不足が懸念される...

政府・経済対策

政府は11月2日、「デフレ完全脱却のための総合経済対策」...

物流革新へ施策前倒し 燃料価格抑制策を継続

懸念される「2024年問題」解決のため、「物流革新緊急パッケージ」...

紙面あんない

- 厚労省、働き方改革へ大臣要請 2
東ト協、適正化事業指導委員会を開催 4
東ト協、物流政策委員会を開催 5
全国ドラコン、東京代表が日本一 6
国土省、自動車関係功労者大臣表彰 7

厚労省 働き方改革へ大臣要請 長時間労働など削減を

厚生労働省は各経営者団体に対し、武見敬三大臣名で「長時間労働削減を始めとする働き方の見直しに向けた取組に関する要請書」(10月19日付)を发出した。

政府が掲げる過労死等防止対策の数値目標や、6年4月からの自動車運転業務などに対する時間外労働の罰則付き上限規制適用に向けて、働き方改革への取り組みが求められている。

このため、11月を「過重労働解消キャンペーン」期間と定め、集中的な周知啓発を行う。

「自身の労働時間を見つめてみましょう。」というメッセージを、労働時間管理アプリ「タイムズ」の画面に表示している。

▽長時間労働を前提とした労働慣行からの脱却を図るとともに、年次有給休暇を取得しやすい雰囲気醸成するための取り組みなどを行うこと(経営トップによるメッセージ発信など)

▽上限規制適用猶予の適用に支障をきたすことにより、下請等中小事業者に適正なコスト負担を伴わない短納期発注や、発注内容の頻繁な変更などの「しわ寄せ」を生じさせることのないよう取引上、必要な配慮



事業・業務は、その適用に向けて時間外労働の1層の削減に努めるなど、準備を着実に進めること。また、荷主となる場合には長時間の恒常的な荷待ちを発生させないよう努めることなど

▽中小企業における月60時間を超える時間外労働に対する割増賃金率引き上げ(今年4月から)

▽自社の働き方改革などに、下請等中小事業者に適正なコスト負担を伴わない短納期発注や、発注内容の頻繁な変更などの「しわ寄せ」を生じさせることのないよう取引上、必要な配慮

東京商工リサーチ「2024年問題」調査

東京商工リサーチの「2024年問題」に関するアンケート(10月実施)の有効回答515社(1社)調査結果によると、運輸業や建設業などに対する時間外労働の上限規制適用に伴い、マイナス影響を懸念する企業が6割を超えている。

マイナス影響との回答は「大いにマイナス」が19.3%、「どちらかというとマイナス」が42.6%で、「マイナス」全体で61.9%だった。

産業別にみると、マイナスとの回答は卸売業が73.0%と最も多い。次いで、規制適用の運輸業が72.7%、建設業が69.3%と多かった。

卸売業では運輸業への規制適用に伴い、配送コスト上昇への対応や納品スケジュール見直しなどが必要になり、影響が大きいとみられる。さらに、運輸業はあらゆる産業に必要な事業であるため、様々な産業にマイナス影響が波及する可能性が高いと分析している。

マイナス影響の具体的な内容(複数回答)は、「物流・建設コスト増加による利益率の悪化」が57.5%と半数を超え、次いで「物流・建設コスト増加による利益率の悪化」が48.0%、「稼働率の低下による利益率の悪化」が37.7%、「労務管理の煩雑化」が37.6%だった。このほか、「時間外手当の減少による従業員の離職」を懸念する企業も22.7%ある。

自動物流道路の提案も

国土交通省は10月31日、社会資本整備審議会(10月24日開催)での審議を踏まえ、「中間とりまとめ」を公表した。50年、世界一、賢く、安全で、持続可能な基盤ネットワークシステム(通称・WISSENT/ワイズネット)の実現に向けて、「シームレスなサービスレベルが確保された高規格道路ネットワークの構築」などを柱とする基本方針や、今後果たすべき役割を提示。

「経済成長・物流強化」に向けては、三大都市圏の環状道路ネットワークの充実などにより「速達性や強靱性を備

持」など4つを重点課題として審議。第59回部会(10月24日開催)での審議を踏まえ、「中間とりまとめ」を公表した。50年、世界一、賢く、安全で、持続可能な基盤ネットワークシステム(通称・WISSENT/ワイズネット)の実現に向けて、「シームレスなサービスレベルが確保された高規格道路ネットワークの構築」などを柱とする基本方針や、今後果たすべき役割を提示。

さらに、次世代の物流実現に向けて自動運転トラックの実用化支援や、自動車に頼らない新たな物流形態として自動物流道路(オートフロー・ロード/都市間で自動輸送する仕組み)も検討すべ

「2024年問題」で総合的な物流支援策を

国土交通省は10月31日、社会資本整備審議会(10月24日開催)での審議を踏まえ、「中間とりまとめ」を公表した。50年、世界一、賢く、安全で、持続可能な基盤ネットワークシステム(通称・WISSENT/ワイズネット)の実現に向けて、「シームレスなサービスレベルが確保された高規格道路ネットワークの構築」などを柱とする基本方針や、今後果たすべき役割を提示。

「経済成長・物流強化」に向けては、三大都市圏の環状道路ネットワークの充実などにより「速達性や強靱性を備

持」など4つを重点課題として審議。第59回部会(10月24日開催)での審議を踏まえ、「中間とりまとめ」を公表した。50年、世界一、賢く、安全で、持続可能な基盤ネットワークシステム(通称・WISSENT/ワイズネット)の実現に向けて、「シームレスなサービスレベルが確保された高規格道路ネットワークの構築」などを柱とする基本方針や、今後果たすべき役割を提示。

さらに、次世代の物流実現に向けて自動運転トラックの実用化支援や、自動車に頼らない新たな物流形態として自動物流道路(オートフロー・ロード/都市間で自動輸送する仕組み)も検討すべ

高速活用で効率化へ 料金水準引き下げを

第59回国土幹線道路部会では、中間とりまとめの審議に先立ち、全日本トラック協会など関係団体にヒアリングした。全土協は、「2024年問題」の影響に加え、高速道路料金の収受について約6割の事業者が収受できていない状況と説明。

その上で、日本の高速料金水準は諸外国と比較して高く、トラックの車種間比率による負担が大きい状況にあることから、料金水準の引き下げを要請。あわせて、大口・多頻度割引の実質50%割引への拡充・恒久化、S・A・P・Aにおける大型駐車マスの休憩施設の拡充などを求めた。

交通事故総合分析センター

交通事故総合分析センターは11月から、国土交通省委託事業として「運送事業者及びドライバー向け睡眠・疲労にかかわるアンケート調査」を実施している。

これに伴い、アンケート調査への協力を呼びかけている。調査期間は11月30日まで。

ドライバーの睡眠時間の不足や、睡眠の質および疲労の蓄積などの睡眠に関する調査・分析を行うため、運送事業者やドライバーを対象にWebアンケートを実施

事業者・ドライバーに睡眠・疲労に係る調査

調査・分析結果は、事業用自動車事故調査報告書における提言の基礎資料などとして使用。これを踏まえ、ドライバーの疲労軽減や安全運転に資する再発防止策を提言し、周知を図っていく方針。全日本トラック協会ホームページに、回答フォームへのリンクを掲載。

東京都都市緑化基金

東京都都市緑化基金は、皆様からいただいた寄付・募金を活用して、都内民有地の緑化を推進しています。更なる緑化推進のため、ご寄付・募金にご協力をお願いいたします。

- 銀行振込やクレジット決済等オンライン寄付が可能です。ご寄付は課税上の優遇措置の対象となります。
- 飲料の売上の一部が自動的に募金される募金機能付き自販機もご用意しています。企業の社会貢献・環境への取組としてご採用いただいております。既存の自販機を募金付きにすることも可能です。

詳細は東京都都市緑化基金HPにて→

天然ガストラックは物流のエネルギーセキュリティ向上と大気環境改善を実現します。



石油系燃料に頼らない天然ガストラックは東日本大震災直後でも、大半が運行を停止することがありませんでした。天然ガスの産地は世界中にあり、エネルギーセキュリティ性が高いことが特徴です。さらに天然ガストラックはCO₂やNO_x、PMなどの排出量が少ないため大気環境改善に貢献しています。



企画部 NGV事業グループ

〒105-8527 東京都港区海岸1-5-20 Tel.03-5400-6774

http://eee.tokyo-gas.co.jp/product/ngv/



運輸 点描

ある政令指定都市の近郊で、スーパーやコンビニエンスストアの店舗配送を行っている事業者は、新たな勤務形態として「残業なし8時間勤務乗務員」や「週休3日乗務員」の採用を検討中だ。正社員として採用予定のため、就業規則の変更や複数の賃金体系の導入などが必要になる。この事業者では拠点間輸送などで一部、長距離輸送も行っているが、来年3月末までに全ドライバーの残業を「960時間以内」にできるという。さらに、採用を増やして労働条件の改善を目指している。

大都市圏の近距離輸送 多様な働き方導入で対応

「2024年問題」への対応の進んでいる事業者の割合が多い。地元と、いくつかの傾向が見えてきた。当然のことだが、長距離輸送、中距離輸送、近距離輸送といった輸送距離の違いによって「2024年問題」への対応の難易度や方法が異なる。

さらに、最近分かってきたのは、地方によって「2024年問題」への対応に差があること。特に、大都市圏(一大経済圏)と距離が離れるほど、労働時間短縮に苦戦している事業者の割合が多い傾向がみられる。

これに対し、大都市圏に近い地方の事業者の方

「残業なし」「週休3日」乗務員 非正規ではパート採用や副業も

間以内はゴールではない。次の「720時間以内」へのスタートである。年間の残業960時間は平均80時間となるが、それは労災補償で「過労死」と認定される目安である。こうしたことを認識し、労働時間の短縮をはじめ労働条件の改善に努める必要がある。

そのためには対応原資の確保が大前提となるが、同時にドライバーをはじめ、人材をいかに確保することも重要な課題だ。近距離の輸送を行っている事業者が多い東のドライバー像とはかなり違った、若い人たちの採用で成功しているユニークな事例もある。

多摩地区で、駅の至近距離に駐車場を借りて営業所を置いている事業者

このほか、東ト協の会員ではないが、大都市圏の事業者の中には、他業種で働いている「副業乗務員」や、毎日、一定時間だけ働く「パート乗務員」などの成功事例もある。

(物流ジャーナリスト 森田富士夫)

貨物輸送見通し(改訂)

研究 総研 N X 2023年度

N X総合研究 今年度は、消費関連貨物や前年度の減少の反動もあり、2・4%増とプラスに反転し、生産関連貨物は0・5%増と小幅ながらプラスを維持する見込み。一方、建設関連貨物の減少により、引き続きマイナスで推移すると予測している。

なお、J Rコンテナ(貨物鉄道)の輸送量は0・3%増と、小幅ながら4

国内輸送量の減少幅縮小 営業用自動車0・9%増



6%減)より縮小する見込み(以下、増減は前年度比)。消費関連・生産関連貨物は、今年度の営業用自動車輸送量は0・9%増と2年ぶりにプラスに転換すると予測。消費関連・生産関連貨物は、今年度の営業用自動車輸送量は0・9%増と2年ぶりにプラスに転換すると予測。

産関連貨物はいずれも堅調な伸びが見込まれるが、建設関連貨物の不振が続き、輸送量を押し下げる見込み。一方、自家用自動車は3・0%減と、

中小企業者支援へ 金融機関提案融資

東京都は10月20日から、中小企業制度融資の融資メニューの一つとして、「金融機関提案融資」の取り扱いを行っている。

中小企業の多様な経営課題や都の政策課題などの解決に資するため、実施しているもの。融資対象は、防災対策や健康経営の推進など、各金融機関が提案する融資目的の取り組みを

いずれも、資金使途は運転資金・設備資金で、融資限度額は2億8000万円(組合4億8000万円)。都が信用保証料について、0・2%相当分を補助する。

融資申し込みは、各取扱金融機関の受付窓口で行う。詳細は都産業労働局ホームページを参照。

登録手続き効率化へ 関東運輸局は10月から、東京・神奈川・千葉

ただで申請書が印刷される。主な対象手続きは移動登録(所有者の名義変更)、変更登録(使用者や氏名・住所の変更)、一時抹消登録(輸出を含む)、車検証の再交付、予備検査、継続検査など。

新車検査(電子車検証)を有する場合は11月から、窓口のICカードリーダーに新車検査をかざすことで、入力を大幅に省略することもできる。詳細は関東運輸局ホームページを参照。

厚労省は10月1日から、雇用保険法施行規則などの一部改正により、日雇労働関係の手続きを除き、雇用保険関係の申請・届け出への押印を廃止した。

令和2年の改正により、雇用保険手続きにおける押印は原則廃止することになっていたが、一部手続きで押印が存続していた。

今回の改正により、押印不要の範囲がさらに拡大され、日雇労働関係を除き、廃止され

雇用保険関係手続き 押印不要範囲を拡大

10月からの押印不要となる。10月からの押印不要となる。10月からの押印不要となる。

10月の指数は前月と同じ126で、前年同月比3ポイント上昇した。令和3年7月以降、前年同月を上回る水準で推移している。荷物情報(求車)登録件数は15万8755件で、前年同月比6・9%増加した。成約率は16・1%で同1・1ポイント低下した。

協同 全日貨物 WebKIIT 運賃指数

10月の指数は前月と同じ126で、前年同月比3ポイント上昇した。令和3年7月以降、前年同月を上回る水準で推移している。荷物情報(求車)登録件数は15万8755件で、前年同月比6・9%増加した。成約率は16・1%で同1・1ポイント低下した。

矢崎の デジタコ・ドラレコ

今お使いのバックカメラの映像を録画できます!

詳しくは、今すぐお電話を!

矢崎エナジーシステム 特約販売店 世田谷サービス株式会社

本社 03-5727-1600 (担当・青木)
高島平 03-6906-5960 (担当・磯田)
ホームページ http://www.setagaya-yss.co.jp
E-mail: postmaster@setagaya-yss.co.jp

巡回指導状況を中間報告



東ト協 適正化事業指導委員会

東京都トラック協会適正化事業指導委員会(松原伸行委員長)は10月23日、東ト協総合会館で令和5年度第1回委員会(W e b併用)を開催し、4

荷主や社会、国民から信頼されるように支援していくため、適正化事業を適正・効果的に実施してきた」と述べた。

年度の東京都適正化事業実施結果を報告した後、5年度の事業実施状況などについて説明し、総指導件数は4168件(同2457件増)。通常巡回指導項目のワースト5(指摘率)は、①特定の運転者に対する特別な指導の未実施(40・4%)、②運輸安全マネジメント(34・5%)、③特定の運転者に対する適性診断の未受診(34・3%)、④健康診断未受診(30・3%)、⑤整備管理者研修未受講(25・6%)。

「D・E評価」を重点に

指摘項目では定期点検未実施が2番目に多いが、その要因として、整備士の不足により定期点検が計画通りに実施できていない問題などが指摘された。

今年度は、総合評価D・E事業所に対する巡回指導(新規57件、更新524件)で、更新予定事業所の更新率は95・4%。未更新の理由では営業所廃止などが最も多い。

また、今年度の「貨物自動車運送事業安全性評価事業」(Gマーク)の申請状況を報告。東京都内の申請件数は581件(新規57件、更新524件)で、更新率95・4%。未更新の理由では営業所廃止などが最も多い。

中小トラック事業者IT活用セミナー

東ト協は11月29日、全日本トラック協会との共催により、令和5年度、中小トラック運送事業者のためのIT活用セミナー「ITを活用した生産性の向上」を開催する。

時間は午後1時30分～4時30分、会場は東ト協総合会館4階会議室。

中小トラック事業者における情報化推進による生産性の向上を支援するための、実施するもの。

講師は、近代経営システム研究所代表の森高弘純氏。第一部(講演)の内容は、①ITの活用方法と「データ経営」の必要性、②生産性向上に向けたIT機器およびシステムの活用、③中小トラック事業者の情報セキュリティ対策、④「データ経営」による見える化の実現。第二部ではIT機器のデモンストラーションを行う。

受講対象は会員事業者(参加費は無料)。定員は会場受講が40人を超えた場合は抽選となる。

新会員

- 【品川支部】
 - ◆日本トーカーパッケージ株式会社 品川区東五反田2の18の1大崎フオレストビルディング 7F
 - TEL: 03-4514-213
- 【多摩支部】
 - 3▽一般貨物運送
 - ◆明豊物流株式会社
 - 町田市小野路町3171の1の106▽04
 - TEL: 2-737-5355
 - 一般貨物運送(普通車16台)

OTAフェスタで多彩な催し



東ト協大田支部(菊池正浩支部長)は11月4・5日、大田区の平和公園など3つのエリアで開催された第34回「OTAふれあいフェスタ」に2つのブースを出展し、多くの区民で賑わった。

交通安全教室では、警察官による交通安全講話や、スタントマシンによる交通事故の再現が行われた。また、鈴木晶雅区長などが来賓あいさつし、交通安全を呼びかけた。なお、参加者は支部からノベルティが

事故再現方式で交通安全教室も

東ト協中央支部(澤幡淳支部長)は10月25日、中央区月島社会教育会館ホールで、令和5年度「運転者講習会」を開催した。支部ブロック制のパイロット事業の一環として、中央・千代田・港の3支部に所属する会員事業者の運転者などを対象に実施したもの。

澤幡支部長は開催に当たり、「中央・千代田・港各支部が第1ブロックとして、相互に講習会などを行っている。改めて勉強することで日頃の安全行動に役立てていただきたい」と述べた。

講習会では、プロデキューブの溝口朝久氏が「願いは安全・狙うは事



合同で運転者講習会

あることを認識してほしいと安全意識の徹底を求めた。

また、事故に遭わない、起こさないようにするために、改めてプロとして交通ルールの遵守を徹底し、自守を徹底し、自認し、免許条件と運転する自動車の最大積載量などを確認するよう促した。

最後に、岩田享也副支部長(運輸安全委員長)が「繁忙期を控え、日々安全を積み重ねていただきたい。トラックは大きなものと認識し譲り合うことが大切。人命は替えがきかないことを銘記してほしい」と呼びかけた。

賑わった「運送屋さんの大鍋」



東ト協中央支部(澤幡淳支部長)は10月25日、中央区月島社会教育会館ホールで、令和5年度「運転者講習会」を開催した。支部ブロック制のパイロット事業の一環として、中央・千代田・港の3支部に所属する会員事業者の運転者などを対象に実施したもの。

澤幡支部長は開催に当たり、「中央・千代田・港各支部が第1ブロックとして、相互に講習会などを行っている。改めて勉強することで日頃の安全行動に役立てていただきたい」と述べた。

講習会では、プロデキューブの溝口朝久氏が「願いは安全・狙うは事

安全の積み重ね求める

故ゼロ帰庫・帰宅1日2回「ただいま」を」と題して講演。

溝口氏は、長く無事故を続けている者であったも危険に関する意識が薄れていくものとし、ハンドルを握って運転する以上、常に安全の積み重ねを求める。

協会 日誌

10月16日(日) 10時～11時 労務厚生委員会 特別車両通行許可制度に関する研修会

16日 労務厚生委員会 情報掲載の同セミナー開催案内から行う。

17日 10時～11時 東ト協総務部広報・情報G(03-33359-4134)

17日(日) 10時～11時 パソコンセミナー(東ト協総合会館(17日))

17日(日) 14時～15時 支部事務局長研修会(東ト協総合会館/Web併用)

20日(月) 東ト協チャリティゴルフ大会(狭山ゴルフクラブ)

27日(月) 15時～16時 専門部会日本製紙連合会物流委員会・東京洋紙代理店会物流委員会との合同研修会(東ト協総合会館)

28日(火) 10時～11時 運輸安全委員会(東ト協総合会館/Web併用) 15時 30分 食糧専門部会・粉委員会(同/Web併用)

29日(水) 14時～15時 報委員会(東ト協総合会館/Web併用)

17日 東ト協IP無線定期通信訓練Ⅲ組織連絡会

18日 引越専門部会引越管理者講習

19日 過労死等防止対策セミナー

20日 東京運輸支局・街頭検査に協力

23日 適正化事業指導委員会▽ロジ研セミナー

25日 普通救命講習(26日)

26日 鉄鋼専門部会安全環境委員会

27日 物流政策委員会

30日 出版・印刷・製本・取次専門部会出版関係輸送懇談会

からだ・メンタルヘルス

電話・Webで健康相談 お気軽にご利用を! 無料

東京都トラック協会は、会員事業者の従業員などを対象に、メンタルヘルス関係を含めた各種健康相談に際する「24時間電話健康相談」を行っている。24時間・365日年中無休で、利用は無料。

メンタルヘルス関係の相談には心理専門職が相談に際する(平日午前9時～午後9時/土曜午前10時～午後6時)。

◆電話相談窓口◆
フリーダイヤル 0120-109-371

あわせて、健康情報に関するWebサイト・アプリ「みんなの家庭の医学」(https://kateinoigaku.jp/団体コード=tora)も利用可能。

「2024年問題」克服へ



運賃・労働力対策など推進

東ト協 物流政策委員会

「標準的な運賃」届け出促進や駐車問題、労働力確保対策などについて、東ト協物流政策委員会が、10月27日、東京都総合会館で令和5年度第1回委員会(Web併用)を開催し、運輸免許取得支援など助成事業の中間実績を報告した後、

若年ドライバー確保のため、運賃届出促進や駐車問題、労働力確保対策などについて、東ト協物流政策委員会が、10月27日、東京都総合会館で令和5年度第1回委員会(Web併用)を開催し、運輸免許取得支援など助成事業の中間実績を報告した後、

5年度入賞作品を決定



東ト協広報・情報委員会(鎮目隆雄委員長)と運輸安全委員長(森本勝也委員長)は11月8日、東ト協総合会館で、合同で設置している「児童絵画作品コンテスト」選考小委員会(鎮目委員長、Web併用)を開催し、令和5年度入賞作品を決定した。

東ト協 ロジ研セミナー

日本刑事技術協会の森透匡代表理事が、東ト協ロジ研セミナーで、物流業界における「ビジネス」の視点から、ドライバーの心理や人間関係の重要性について講演した。

人間心理の見抜き方

講師の森氏は、人間心理の見抜き方について、言葉や表情、仕草などから、相手の心理を読み取る方法を解説した。

「2024年問題」アンケート

東ト協(フェスタ会場で実施)

東ト協は、「トラックフェスタ TOKYO 2023」(9月17日、代々木公園にて開催)で、来場した一般市民を対象に「物流の2024年問題」に関するアンケートを実施した。



「安全な輸送」が50・6%と半数を占め、次いで「環境にやさしい輸送」が21・5%、「届くまでの時間」が12・3%。これらで8割以上を占めたほか、「良心的な輸賃」が8・4%、「高品質な輸送(時間指定や冷蔵・冷凍輸送など)」が7・3%。

「安全な輸送」が50・6%と半数を占め、次いで「環境にやさしい輸送」が21・5%、「届くまでの時間」が12・3%。これらで8割以上を占めたほか、「良心的な輸賃」が8・4%、「高品質な輸送(時間指定や冷蔵・冷凍輸送など)」が7・3%。

「安全な輸送」が50・6%と半数を占め、次いで「環境にやさしい輸送」が21・5%、「届くまでの時間」が12・3%。これらで8割以上を占めたほか、「良心的な輸賃」が8・4%、「高品質な輸送(時間指定や冷蔵・冷凍輸送など)」が7・3%。

「安全な輸送」が50・6%と半数を占め、次いで「環境にやさしい輸送」が21・5%、「届くまでの時間」が12・3%。これらで8割以上を占めたほか、「良心的な輸賃」が8・4%、「高品質な輸送(時間指定や冷蔵・冷凍輸送など)」が7・3%。

「安全な輸送」が50・6%と半数を占め、次いで「環境にやさしい輸送」が21・5%、「届くまでの時間」が12・3%。これらで8割以上を占めたほか、「良心的な輸賃」が8・4%、「高品質な輸送(時間指定や冷蔵・冷凍輸送など)」が7・3%。

「安全な輸送」が50・6%と半数を占め、次いで「環境にやさしい輸送」が21・5%、「届くまでの時間」が12・3%。これらで8割以上を占めたほか、「良心的な輸賃」が8・4%、「高品質な輸送(時間指定や冷蔵・冷凍輸送など)」が7・3%。

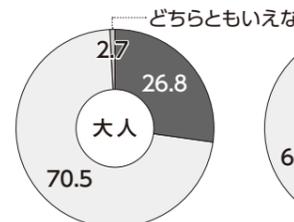
「安全な輸送」が50・6%と半数を占め、次いで「環境にやさしい輸送」が21・5%、「届くまでの時間」が12・3%。これらで8割以上を占めたほか、「良心的な輸賃」が8・4%、「高品質な輸送(時間指定や冷蔵・冷凍輸送など)」が7・3%。

「安全な輸送」が50・6%と半数を占め、次いで「環境にやさしい輸送」が21・5%、「届くまでの時間」が12・3%。これらで8割以上を占めたほか、「良心的な輸賃」が8・4%、「高品質な輸送(時間指定や冷蔵・冷凍輸送など)」が7・3%。

「2024年問題」による輸送サービスの変化

運賃	届くまでの時間	
	同じ	遅くなっていい
高くなっていい	15.6(13.2)	20.9(14.6)
同じ	21.5(49.5)	42.0(22.7)

トラックドライバーになりたい



「はい」との回答は、子供(なりたいたいと大人(なりたいたい)・なっていない)を合わせて32・4%と、全体の3分の1にとどまった。一方、「いいえ」との回答は、子供と大人を合わせて66・2%を占める。なかでも、大人では70・5%と高く、長時間労働など厳しい労働条件のイメージが影響しているようだ。



「はい」との回答は、子供(なりたいたいと大人(なりたいたい)・なっていない)を合わせて32・4%と、全体の3分の1にとどまった。一方、「いいえ」との回答は、子供と大人を合わせて66・2%を占める。なかでも、大人では70・5%と高く、長時間労働など厳しい労働条件のイメージが影響しているようだ。

「安全な輸送」が50・6%

「安全な輸送」が50・6%と半数を占め、次いで「環境にやさしい輸送」が21・5%、「届くまでの時間」が12・3%。これらで8割以上を占めたほか、「良心的な輸賃」が8・4%、「高品質な輸送(時間指定や冷蔵・冷凍輸送など)」が7・3%。

「届くまでの時間」が12・3%

「届くまでの時間」が12・3%と、これらで8割以上を占めたほか、「良心的な輸賃」が8・4%、「高品質な輸送(時間指定や冷蔵・冷凍輸送など)」が7・3%。

「良心的な輸賃」が8・4%

「良心的な輸賃」が8・4%と、これらで8割以上を占めたほか、「高品質な輸送(時間指定や冷蔵・冷凍輸送など)」が7・3%。

「高品質な輸送」が7・3%

「高品質な輸送(時間指定や冷蔵・冷凍輸送など)」が7・3%と、これらで8割以上を占めたほか、「良心的な輸賃」が8・4%。

東京代表10年ぶり日本一



全ト協 第55回 全国ドラコン

伊藤さん(西濃運輸)が 内閣総理大臣賞



鶴田局長から内閣総理大臣賞を授与される総合優勝の伊藤さん(左)



11トン部門で3位入賞を果たした浦部さん(中央)

全国ドラコンは、業界を挙げて取り組んでいる、安全意識の高揚と交通事故防止活動の推進に資することを目的として毎年開催しているもの。表彰式では、あいさつに立った全ト協・坂本克己会長が「安全のトップリーダーであることを胸に刻んで

全日本トラック協会主催の第55回「全国トラックドライバー・コンテスト」で、東京都代表の伊藤圭将さん(西濃運輸深川支店所属)が、プロトラックドライバー日本一(総合優勝)として内閣総理大臣賞を受賞した。東京都代表選手が10年ぶりで日本一の栄冠に輝いた。

第55回全国ドラコンは4ト・11ト・トレイラー・女性の4部門で行われ、各都道府県から選ばれた139人(うち女性22人)が出場。10月21・22日、茨城県ひたちなか市の自動車安全運転センター安全運転中央研修所で、学科競技法規・構造機能・運転常識/400点満点)と実科競技(運転技能・点検/600点満点)を行い、日頃培った安全

また、東京都代表選手では、第44回東協ドラコンで総合優勝した浦部雄大さん(NXキャッシュ・ロジスティクス東日本支店田町センター)が11ト部門に出場し、同部門3位と上位入賞を果たした。各部門の上位入賞者は、表の通り。

全日本トラック協会主催の第55回「全国トラックドライバー・コンテスト」で、東京都代表の伊藤圭将さん(西濃運輸深川支店所属)が、プロトラックドライバー日本一(総合優勝)として内閣総理大臣賞を受賞した。東京都代表選手が10年ぶりで日本一の栄冠に輝いた。

また、東京都代表選手では、第44回東協ドラコンで総合優勝した浦部雄大さん(NXキャッシュ・ロジスティクス東日本支店田町センター)が11ト部門に出場し、同部門3位と上位入賞を果たした。各部門の上位入賞者は、表の通り。

また、東京都代表選手では、第44回東協ドラコンで総合優勝した浦部雄大さん(NXキャッシュ・ロジスティクス東日本支店田町センター)が11ト部門に出場し、同部門3位と上位入賞を果たした。各部門の上位入賞者は、表の通り。

部門	順位	氏名	所属事業所	都道府県
4ト	1位	伊藤 圭将	西濃運輸(株)深川支店	東京都
	2位	横井 宏彰	ロジスティード西日本(株)大山崎 AE 営業所	京都府
	3位	高野澤 明良	ロジスティード東日本(株)水戸営業部水戸輸送営業所	茨城県
11トン	1位	岡田 聡	日本通運(株)神戸支店加古川事業所営業課	兵庫県
	2位	佐藤 健弘	西濃運輸(株)仙台支店	宮城県
	3位	浦部 雄大	NXキャッシュ・ロジスティクス(株)東日本支店田町センター	東京都
トレイラー	1位	山本 英司	住化ロジスティクス(株)愛媛事業所運輸部輸送課	愛媛県
	2位	永光 利成	センコー(株)阪神主管支店西神戸車輛センター	兵庫県
	3位	福田 崇	(株)パンテック九州輸送部輸送課	福岡県
女性	1位	藤本 小梨絵	日本通運(株)京都支店ロジスティクス営業部京都中央事業所鉄道コンテナ課	京都府
	2位	谷津 尚子	センコー(株)埼玉主管支店新潟営業所	新潟県
	3位	齋藤 慈	西濃運輸(株)座間支店	神奈川県

いただき、プロトラックドライバーの代表選手として、今後も自信と誇りをもって頑張ってほしい」と激励した。また、来賓として国土交通省の牧丈二調査官が祝辞を述べた。



◎深夜の高速道路走行時は、視界が悪くなる上、交通量の減少により脇見運転や漫然運転に陥りやすくなるが、前方への注意は絶対に失わないこと。また、事故やトラブルにより側道等で緊急停止する場合は、発煙筒や停止表示機材を設置するなど、後続車両へ警告合図を送るとともに、続発事故の防止に努めること。

日時	10月17日(火) 22時20分頃発生(晴天)
場所	練馬区内(関越自動車道下り)
当事者	①事業用準中型貨物車(男性50代既婚) X ②事業用大型貨物車(停止中・無人) *撮影は過失の程度を示すものではありません
状況	
概要	事業用準中型貨物車が、関越自動車道下りの第1車線を練馬方面から新座方面へ進行中、物件事故で停止中の事業用大型貨物車に何らかの原因により追突したもの。

問い合わせ先：東京都トラック協会 業務部交通・環境G ☎03-3359-3618
※事故速報は東ト協ホームページでPDFデータも掲載しています

トラック事故速報 死亡事故

トラックドライバーのための 危険予知トレーニング 冊子

トラックドライバーのための 危険予知トレーニング

関交協では、運送事業者の皆様とともに交通事故削減を課題とし、様々な事故防止支援を行っております。

当組合発生の事故事例の類似交通場面を画像で例示し、分析&解説した冊子を作成いたしました。

国土交通省 事業用自動車総合安全プラン2025の施策でも挙げられた、取り組むべき課題「危険予知トレーニング用視聴覚教材による事故防止活動の推進」に則した指導・教育に本冊子をご活用ください。

ご希望の方は、関交協・安全推進部まで

TEL : 03-5337-1754

MAIL : ansui@kankokyo.or.jp

関東交通共済協同組合

5 国交省 自動車関係功労者大臣表彰

鈴木副会長はじめ12氏



国土交通省は10月26日、千代田区の同省10階共用大会議室で、令和5年「自動車関係功労者大臣表彰式」を開催し、各分野で功績のあった事業者・運転者など合わせて203人を表彰した。

表彰式では、国交省の副大臣が功労者代表と面談し、自国交省の功績をねぎらった。功労者代表は、国土交通省の功績をねぎらった。功労者代表は、国土交通省の功績をねぎらった。

千代田)▽舟津元弘(舟津運送・中央)▽鈴木隆志(日本カーゴエクスプレス・港)▽寅谷和男(丸和運送・世田谷)▽田澤功(コスモ運輸・文京)▽加藤浩介(カトー物流・城東)▽片岡祥守(片岡運送・墨田)▽嶋村文男(運転者) 加藤友吉(東京福山通運・北)

東ト協2氏が受賞

東ト協運輸局長は11月7日、横浜市の横浜市教育会館で、令和5年「陸運及び観光関係従事者関東運輸局長表彰式」を開催し、東ト協運輸局長(板橋)と東ト協運輸局長(板橋)がそれぞれ表彰を受けた。



東ト協運輸局長(板橋)と東ト協運輸局長(板橋)がそれぞれ表彰を受けた。東ト協運輸局長(板橋)と東ト協運輸局長(板橋)がそれぞれ表彰を受けた。

陸運従事者表彰

陸運従事者表彰の表彰式が行われた。陸運従事者表彰の表彰式が行われた。



健康経営への取り組み 57%が何らかの対応策

健康経営への取り組み 57%が何らかの対応策。健康経営への取り組み 57%が何らかの対応策。健康経営への取り組み 57%が何らかの対応策。



健康起因事故防止に向けた事例分析し対策資料作成。健康起因事故防止に向けた事例分析し対策資料作成。健康起因事故防止に向けた事例分析し対策資料作成。

帝国データバンク調査

帝国データバンク調査の結果、健康経営に取り組んでいる企業は56.9%と、5割を超える企業が従業員に対する健康経営に取り組んでいることがわかった。

長時間労働改善に向けた厚労省 荷主連携ミーティング

厚労省は11月以降、トラック運転者の長時間労働改善に向けた厚労省 荷主連携ミーティングを開催する。厚労省は11月以降、トラック運転者の長時間労働改善に向けた厚労省 荷主連携ミーティングを開催する。

エコドライブ普及へ 11月は「推進月間」

11月は「エコドライブ普及推進月間」を開催する。11月は「エコドライブ普及推進月間」を開催する。11月は「エコドライブ普及推進月間」を開催する。

運行管理者試験テキスト 過去の問題の解説と実践模擬問題 自動車六法 令和5年版(7月刊行) 株式会社 輸送文研社(柏林書房)

トラック運送業

労務管理のポイント

11月「過労死等防止啓発月間」

長時間労働改善へ対策推進を

NACマネジメント研究所 所長
小林 弘和(社会保険労務士)

1 啓発月間の概要

毎年11月は、「過労死等防止対策推進法」に基づく「過労死等防止啓発月間」と定められています。同月間中には「過重労働解消キャンペーン」と銘打って、「過労死等」につながる過重労働への対応として、著しい長時間労働や悪質な賃金未払い残業などの撲滅に向け、全国各地で「過労死等防止対策推進シンポジウム」が開催されるほか、労働に関する相談を無料で受け付ける「過重労働解消相談ダイヤル」なども設けられています。

また、周知啓発活動の一環として、労働基準監督署の重点的な監督指導も行われます。

2 過労死等の現状
「過労死等」とは、過労死等防止対策推進法第2条において、「業務における過重な負担による脳血管疾患又は心臓疾患を原因とする死亡、もしくは業務における強い心理的負担による精神障害を原因とする自殺による死亡又はこれらの脳血管疾患、心臓疾患、精神障害と定義されています。厚生労働省では、過重

な仕事の原因で発症した脳・心臓疾患や、仕事による強いストレスが原因で発病した精神障害の状況について、平成14年から毎年、労災請求件数や「業務上疾病」と認定された労災保険給付を決定した支給決定件数などを取りまとめています。

今年6月30日に公表された、令和4年度「過労死等の労災補償状況」の内容は、次の通りです。

①労災請求・支給件数
過労死等に関する労災保険の請求件数は3486件で、前年度比387件の増加となっています。また、支給決定件数は904件で同103件の増加ですが、このうち死亡(自殺未遂を含む)件数は121件で同15件の減少となっています。

②脳・心臓疾患に関する事案の労災補償状況
脳・心臓疾患に関する事案の労災補償状況をみると、請求件数は803件で同50件の増加で、支給決定件数は194件で同22件多い状況ですが、このうち死亡件数は54件で同3件減少している状況です。

これは、現在の「改善基準告示」において、運転者の月の拘束時間の上限である原則293時間の

とした場合に約100時間の拘束時間が可能であり、特例の320時間の拘束時間となる約127時間程度の時間外労働が可能であることと関連があるものと考えられます。

6年度から適用の改善基準告示改正後も、月の拘束時間の上限である原則284時間とした場合に約91時間程度の時間外労働が可能で、特例の310時間の拘束時間となると約117時間程度の時間外労働が可能で、また、時間外労働の上限規制においても年間960時間、月平均80時間となっています。

つまり、改善基準告示や時間外労働の上限規制を限度に近い時間で遵守したとしても、「脳・心臓疾患による過労死等」を発生させてしまうリスクがあり、このことを改めて認識して対応する必要があります。

さらに、支給決定件数を年齢別にみると、多い順に「50～59歳」が67件、「40～49歳」が58件、「60歳以上」が49件です。高齢化が進む運送業の運転者において「脳・心臓疾患に関する過労死等」のリスクが高いといえる

3 運送業における過労死等防止対策
こうした状況を踏まえ、運送業における過労死等防止対策として、運転者の拘束時間および労働時間の管理を徹底して、来年度から適用される時間外労働時間の限度960時間(月80時間)以下を早期に達成することはもとより、会社として大きなリスクとなる過労死等防止のため、一層の労働時間短縮に向けて取り組みを強化していく

の労災補償状況をみると、請求件数は2683件で同377件の増加で、支給決定件数は710件で同81件の増加です。このうち未遂を含む自殺件数は67件で同12件減っています。請求と支給決定件数は、いずれも過去最高を更新する、深刻な状況が続いています。

ただし、精神障害に関する事案は労働時間の長さとの比例関係がみられず、業種別では「社会保険・社会福祉・介護事業者」、職種別では「専門的・技術的職業従事者」100が最多で、特に運送業で発生するリスクが大きいとは考えられません。

2 労務管理のポイント

10月末で、東海道新幹線車内のワゴンサービスが60年の歴史に幕を降ろした。駅構内のコンビニなどで購入し、車内に持ち込む利用客が増えたことが理由のひとつ。車内でコーヒーや土産物を求める旅の楽しみが消えてしまった。

とりわけ人気だったのが、あのカチカチの「新幹線アイスクリーム」。スプーンが入らず、しばらくお預け。頃合いをみて味わう名物だった。無くなってしまおうとな

は、嫌がらせ、いじめ、又は暴行を受けた(ハラスメントを受けた)が最も多く、ハラスメント防止対策に留意する必要があります。

こうした状況を踏まえ、運送業における過労死等防止対策として、運転者の拘束時間および労働時間の管理を徹底して、来年度から適用される時間外労働時間の限度960時間(月80時間)以下を早期に達成することはもとより、会社として大きなリスクとなる過労死等防止のため、一層の労働時間短縮に向けて取り組みを強化していく

の労災補償状況をみると、請求件数は2683件で同377件の増加で、支給決定件数は710件で同81件の増加です。このうち未遂を含む自殺件数は67件で同12件減っています。請求と支給決定件数は、いずれも過去最高を更新する、深刻な状況が続いています。

10月末で、東海道新幹線車内のワゴンサービスが60年の歴史に幕を降ろした。駅構内のコンビニなどで購入し、車内に持ち込む利用客が増えたことが理由のひとつ。車内でコーヒーや土産物を求める旅の楽しみが消えてしまった。

消えた車内販売

のも頷ける。しかし、ワゴンサービスが消えても、新幹線アイスやドリッップコーヒーが、ワゴンサービス最終日前に東京駅・新幹線ホームで復活販売された(写真)。アイスよりコーヒー自販機の設置台数が多い。あわせて、改札内の一部売店でもアイス



は継続販売されている。試みに自販機の新幹線アイス求めた。現金は使えず電子マネーのみで、カードの種別を選択し購入する。カチカチと思いきや、直ぐに食べられる硬さだった。ドリッップコーヒーにもアイテムが増え、ドクターイエローコーヒーは500円と強気の価格だ。コロナ感染症の影響で人々の生活環境が変わり、公共交通機関の利用者も激減した。昨今、非対面での販売方法として、食品自販機の急速な普及が目覚ましい。一方で、省力化の末に失われていくものもある。旅情を誘う車内販売は、いずれ遠い記憶の片隅に追いやられてしまうだろう。「シンカンゼンスゴイカタイアイス」も思いつきの一品として。

ポケット



まちかど写真家 筑峯 総太

大江戸散歩
第137回

旅情を誘う車内販売は、いずれ遠い記憶の片隅に追いやられてしまうだろう。「シンカンゼンスゴイカタイアイス」も思いつきの一品として。



数楽パズル

タテ9列、ヨコ9列のどの列にも、1～9の数字がひとつずつ入ります。同時に太い線で囲まれた9マスの、どのブロックにも、1～9の数字がひとつずつ入ります。最後に問1のAと問2のBをプラスしてください。その数字が答えです。

A + B =

6	3	2		7	9		5	4
					4			3
	7	5			2	8	6	
	2		4	9			8	
5	8			3	1		4	
	9	4		8			7	
2			1	5			3	8
8						5		
3	5		6	4	8	2	9	

	7			2	5			8
1	6		9		2	3		
2	9			8		6	7	
	6	8		2	3		1	
		4	3			9		
3			5	1		6	4	
8			9		1	5	7	
	3		8		7		2	9
7	9			5		8		

応募方法

官製はがきに、①答え②あなたの住所・郵便番号③会社名④氏名⑤年齢⑥本紙へのご意見・ご要望を明記し、お送りください。正解者の中から抽選で3名様に図書カード(1,000円分)をプレゼント。
☆インターネットでの応募も可能です。
https://www.totokyo.or.jp/
☆インターネット応募の場合、解答フォームをご利用ください。東ト協HPトップ「会員の皆様へ」をクリックし、「東京都トラック時報」から「パズル&クイズ解答フォーム」へ。

●宛先
〒160-0004 新宿区四谷3-1-8
(一社)東京都トラック協会
総務部広報・情報G「トラック時報」係

●締め切り
11月末日(正解は12月10日号に掲載)

★10月10日号「漢字の熟語しりとり」の正解は「全力投球」でした。

お多福や大黒様、打出の小槌に大判小判、宝船に大入り袋、鯛、福笹など、縁起物いっぱい豪華な縁起熊手が居酒屋内の一角にあった。店主曰く「商売は厳しいねえ。けど、お客さんがこの熊手を見ながら、少しでも気持ちよく酔ってもえたら嬉しいね。毎年、西の市で買い換えてるんだよ」と。西の市は江戸時代から続く年中行事。江戸時代、芭蕉の弟子である其角は「春を待つ 事のはじめや 西の市」と詠んでいる。正月を迎える最初の祭りだったようだ。◆ようやく秋らしくなってきたが、季節はずれの暑さも時折ある。秋は短く、一足飛びに冬を迎えそうな気配だ。それを、正月準備に向けた最初の行事「西の市」が加速させるかのようだ。◆西の市は、毎年11月の「西の日」に各地の鷹神社などで行われる。今年は一の西が11日(土)、二の西が23日(木)で三の西はない。◆関東三大西の市といえば東京の鷹神社(台東区)／花園神社(新宿区)／大國魂神社(府中市)。居酒屋店主は「今年も奮発して大きな熊手を買って福をかき込み、開運招福、商売繁盛を願う」と前向きだ。